

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名		あすなるSTEP			
○保護者評価実施期間		2025年1月28日		～ 2025年2月15日	
○保護者評価有効回答数		(対象者数)	16	(回答者数)	9
○従業者評価実施期間		2025年1月28日		～ 2025年2月15日	
○従業者評価有効回答数		(対象者数)	2	(回答者数)	2
○訪問先施設評価実施期間		2025年2月15日		～ 2025/3/17	
○訪問先施設評価有効回答数		(対象者数)	16	(回答者数)	16
○事業者向け自己評価表作成日		2025年3月17日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	弊所では、学校現場での豊富な勤務経験を有する職員を配置しています。これにより、お子様への支援はもとより、学校側との緊密な連携を可能にし、教育現場の実情に即した、きめ細やかなサポートを提供していることが弊社の強みです。	お子様の困り感を多角的に把握するため、間接支援による観察、関係機関との密な連携、個別支援計画の充実、職員の専門性向上、環境調整への働きかけを意識的に行っています。	学校の先生方との綿密な情報共有と、保護者様への丁寧な支援を両輪とし、お子様の成長を支える連携体制を強化します。次年度は、定期的な情報交換会の開催や、個別の相談窓口の拡充などを通じて、より一層密なコミュニケーションを図り、お子様一人ひとりに最適な支援を提供できるよう努めます。
2	保育所等訪問支援計画の作成にあたり、訪問先施設の担当者様や担任の先生方との綿密な連携を重視しています。お子様の状況や施設の意向を丁寧に伺い、具体的な支援目標や内容を盛り込むことで、お子様一人ひとりの成長を最大限に促す、きめ細やかな支援計画を作成できることが弊社の強みです。	訪問支援を行うにあたり、訪問先施設の担当者様や担任の先生方との綿密な情報共有を最優先としています。お子様の状況や課題を正確に把握するため、定期的な情報交換会や個別の相談時間を設け、先生方の意向を丁寧に伺いながら、具体的な支援目標や内容を決定しています。また、支援後には必ずフィードバックを行い、先生方との連携を密にすることで、より効果的な支援の提供に努めています。	職員の専門性向上、関係機関との連携強化、保護者支援の充実、支援内容の多様化と個別最適化、支援環境の整備を重点的に行い、より質の高い支援を提供できるよう努めます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童担当の支援員が個別支援に関する情報を主に保持していたため、職員間での情報共有に偏りが見られました。これにより、他の職員が児童の状況を十分に把握できず、支援の質にばらつきが生じる可能性があります。	情報共有の仕組みの不備、職員の役割分担の不明確さ、職員間のコミュニケーション不足、支援員の経験やスキル、業務量の偏りなどが複合的に作用し、情報共有の不足という課題が生じました。	定期的な情報共有会議の実施、役割分担の明確化、職員研修による情報共有スキルの向上、業務量の調整による情報共有時間の確保を改善します。
2	学校側のニーズに過度に配慮するあまり、訪問支援のスケジュール調整が難航し、結果として利用状況に月ごとの偏りが生じてしまいました。	学校側の要望を優先するあまり、弊事業所の資源配分や計画性を十分に考慮できなかったことが要因。	事業所の計画性や資源配分を考慮した上で、より柔軟かつ安定的な訪問支援スケジュールを策定し、利用者様へのサービス提供の安定化を図ります。
3			